



★オバちゃんスキー特捜隊★ 発行部数 29,755 部！  
 おまかせしました。OLスキー特捜隊から昇華したまことのオバちゃんです。  
 人気のお山はシニアでいっぱい！！ ジルプレッタのおっちゃんたちに  
 負けてられません。山行中は餡ちゃん食べて、ついてくで！！

オバちゃんスキー特捜隊のリカです。今シーズンは120%山にいくぞ！ の鼻息荒めでスタートしました。にもかかわらず、のつけから天気がね。こればかりは、どうしようもないですわ。とわかっていてもいろいろしたくなるのが、オバちゃんの本性。しつこく、日帰り西山を深追いでみたところ、いいじゃない～。体力ないオバちゃんには、日帰りパウダーは膝にも腰にもやさしいのよ。雨が少なく、気温も低めだったこともあり長いシーズンになったので、おおいお楽しみさせてもらってます。



▼ 4月6日 乗鞍岳前川本谷左岸尾根

二匹目のドジョウがいました。今シーズンは転進バックからの選出で、2度足を運ぶことが多かったかも。今までのジンクスである、二匹目のドジョウは山スキーにはなかったのが、今シーズンはどうしたことでしょう。いましたよ。この日も会山行が中止になって、取り急ぎのパーティ合体により賑やかに繰り出しました。念願の高天原尾根。3月にゲレンデから向かったクラスト斜面で難儀した嫌な思い出をリセットできるかな。数が濃いのは安全のしるし。上部はカリンコリンなので、下から行けるとこまで行こう計画。しかも、絶対に入っちゃダメといわれる前川本谷の左岸尾根がテロンとしていたので、様子を見ながらの安全第一ルートとしました。休暇村から前川林道を進みます。秋になるとキノコの宝庫になる癒しの森を大所帯で。前田(奈)・(た)、坂村、古野、野村、小暮(憲)・(智)、キノコ先生、オバちゃんの9名。シラビソの静かな森に雪が舞います。古野師匠いわく「乗鞍にも、こんな森があったんだ」。森林限界が近づき、風が出てきたので、切り開きにトラバースするのはやめて、2600m地点から往路を戻ります。するとガスの中から三人組が登場。お互いに、こんなところで人にあうとはと驚きました。静かなルートなので三度目とのことだそうです。降雪によりリセットされたメロウ斜面を堪能できました。久しぶり山スキーのササプは「どこ滑るの？」と数を心配していたようですが、靴擦れ痛いタイの足で、見た目は軽やかに高度を下げていきます。下の写真はお付きの古野師匠とのツーショット。今回は総勢9人なので、下りはパディシステムをとって、リグループしたら人数確認。かつとびチームもご満悦なパウダーになっていました。新潟方面が雨予報でダメな場合の転進先としてはおすすりルートです。リフト開始時間をまわっているスタートが遅くなるので、休暇村駐車場から林道からのアプローチもラクチンです。この日の富士見ボウルも真っ白しろだったようなので、新雪ボウル滑りも案にありましたが、森の中の新雪も味わえ、半日ルートでそれぞれが楽しめたので、よしとしましょう。休暇村前川林道除雪終了点(7:00)～尾根取付 (7:40)～2600m(11:30)～林道(13:30)

▼ 4月19日 守門破間川源流

「囲炉裏じねんに守門スキー」と同じココロザシのため佐貫さん、棚橋さんと一緒に、破間川源流を狙いましたが、大自然館からのアプローチを間違えて、林道逆歩きで1時間のタイムロス。怖いと噂の橋まで戻り、怖くなくなっていた橋を渡り、下黒姫沢をつめる最近では、SMOPの方で話題のところ。トマでも、先シーズンに木下さんたちが泊まりで源流滑りを堪能しています。予報が1日しかもたないようなので、駒ノ神経由で袴腰、右俣滑降、黒姫に登り返しと、目標は壮大にしましたが、取り付きミスとよっぱなの降雨により、最小ルートで楽しむことができました。下黒姫沢右岸で登り、最後の稜線ではシートラ。無雪期には密な主稜線から破間川に滑り込みます。最短の1300 按部から適度に緩んだ快適な斜面でうっとり滑っていたら、稜線に登り返しているRSSA代表ヨッシーと斉藤さんコンビにお会いしました。オバちゃん、おっちゃんにザラメは、猫にマタタビ状態です。二俣まであったという間。そして、ゆるい支尾根で黒姫山手前のポコに登りかえします。稜線に戻りましたが黒姫側按部はクラックが大きすぎ降りられないので、西側側按部からの滑降。ゆったりとした大らかな斜面をどこまでも～っと。そのままだと上黒姫沢にはいるので、大斜面のあとはトラバース気味に尾根にのり、山毛櫨森、ザラメのすべりゆったりとした沢床に降りました。気温があがらなかつたので、素敵なザラメは温存されています。林道にワンピッチ登り返してスタート地点に帰ってきました。以前、会山行でトレースしたときは、雪まくりがおおく、ここまで快適な滑りはできなかったというか、印



